平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	328
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始	H1	終了	

事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業
担当課等名	美術博物館

根拠

主要区分	主	記号	計画等名称
戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
法令・例規等			博物館法
			飯田市美術博物館条例

事業目的	
対象	飯田下伊那圏域の市民
意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・教育普及事業の組立において、多様化する市民の学びの要求に応える工夫が求められています。 ・学校教育との更なる連携が求められています。 ・これまで「伊那谷の自然と文化」の研究の基盤を支えた地域の研究者・研究団体が世代交代の時期に入っており、次世代の育成が進んでいません。協働の場と機会を設けて取り組んでいく必要があります。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
総合的な教育普及活動として美博まつり、学芸祭を行います。 自然部門では、自然講座、子ども科学工作教室、地球探検隊、天文講座、化石標本室ワークショップ、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行います。 人文部門では、文化講座、古文書講座を行います。 美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、子ども美術学校、美術ワークショップを行います。 藤本四八氏を顕彰し、写真文化を広めるために、子ども写真教室、美博小中高校生写真賞の事業を行います。 市民ギャラリーの運営を行います。 伊那谷研究団体の活動への支援を行います。	専門研究員等賃金	2,324
	自然部門教育普及	2,035
	人文部門教育普及	359
	美術部門教育普及	523
	総合教育普及	1,572
	研究費助成	450
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
講座等開催数	回	93	105		
講座等参加者のべ人数	回	7,000	5,500		
美博まつり参加者数	人		2,000		
市民ギャラリー観覧者数	人		15,000		

30年度予算

財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計		7,263	(そ) 過疎地域自立促進基金繰入金　1,500千円 (そ) 美術博物館施設使用料　340千円 (そ) 諸収入　460千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,300	
	一般財源	4,963	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	7,263 0	美術博物館教育普及・活動事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								